

## Cisco Ironport ESA AsyncOS 7.1.1 リリースノート要約

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ  
エンジニアリング部 第二グループ

## 目次

1. はじめに .....	3
2. ASYNCOS 7.1 新機能の紹介 .....	4
3. 修正された不具合 .....	6
4. アップグレード時の注意点及びアップグレードパス .....	7
5. パフォーマンス観点での注意事項 .....	9
6. その他.....	10
7. 改定履歴 .....	11

## 1. はじめに

---

当リリースノートの要約は弊社において Cisco 社発行のリリースノート (ESA\_7.1.1\_FCS\_Release\_Notes) を  
独自に要約した書となります

また、2010 年 5 月 31 日現在、該当 OS は FCS 扱いである為、正式版のリリースに伴い、メーカー都合で  
変更になる場合がございます

## 2. AsyncOS 7.1 新機能の紹介

---

### DLP の拡張 (DLP 機能は別途ライセンスの購入が必要)

- ・ AsyncOS 7.1.1. ではマサチューセッツ州 CMR-201 に対応する DLP テンプレートを内包しました
- ・ 金融企業向けの DLP テンプレートを内包しました
- ・ よく使われる DLP ポリシーを作成する為に容易にブラウザで設定できるウィザードが内包されており、このウィザードの利用後は内→外のデフォルトのメールポリシーで DLP が有効となります。

### TLS の拡張

- ・ 証明書管理 公開鍵の自己署名を GUI/CLI から作成可能  
また、署名リクエストをアイアンポートアプライアンスで発行する事が可能
- ・ 認証局管理 信頼された認証局をカスタムリストとしてアイアンポートアプライアンスに読み込みます事が可能です。またその際には規定の認証局を無効としてエクスポートする事が可能
- ・ 割り当て リスナー毎の TLS 接続に対し証明書を割り当てる事が可能  
HTTPS 接続、LDSPS, 内→外の TLS 接続に個別の証明書の利用が可能

### アクセスコントロールリストの実装

- ・ 管理画面へのアクセスを IP アドレス/CIDR 表記で規制する事が GUI/CLI から可能

### ログインバナーの実装

- ・ SSH/Telnet/FTP/WebUI のログイン時のログインバナーをカスタマイズする事が可能

### 暗号化機能の拡張 (暗号化機能は別途ライセンスの購入が必要)

- ・ 暗号化プロファイルに開封に必要なパスワードの入力を無しにする (No password) を設定する事が可能になりましたが、このプロファイルを利用した場合最も低いセキュリティレベルである事と、セキュアリプライ、全員へのセキュアリプライ、セキュアな転送などの機能は利用できなくなります。

### パケットキャプチャ機能の拡張

- ・ CLI から実行可能な packetcapture コマンドが新設されました。  
従来は diagnostic >> NETWORK >> TCPDUMP にてパケットキャプチャが可能でしたが  
従来の方法でも同様の手法でパケットキャプチャは実施できます

## VOF 機能の拡張 (VOF 機能は別途ライセンスが必要)

- ・ VOF で隔離されたメッセージについて開放される際に IPAS/Antivirus で再スキャンを行うかどうかをメールフローポリシー内に設定可能

## フィルタルールの拡張

- ・ X.509 公開鍵証明書を利用した S/MIME メッセージについてフィルタでルールが記載できるようになりました

## メッセージスキャンの拡張

- ・ 通常 S/MIME で暗号化されたメッセージはスキャンできませんが、scanconfig コマンド内の SMIME 設定でアイアンポートアプライアンス内で紐解く設定が可能

## 再配送機能の拡張

- ・ 強制配送 (全配送のみ) が GUI から行えるようになりました。  
受信ドメイン毎もしくは全配送は従来通り delivernow コマンドで選択可能

## メッセージフィルタ/コンテンツフィルタの拡張

- ・ フィルタアクションとしてログに任意のエントリの追加が可能
- ・ DLP ポリシーにマッチしたメッセージにタグを付けるアクションが追加  
このアクションで付与されるタグは受信者からは確認できません。

## SPF/SIDF のコントロールの拡張

- ・ SMTP カンバセーション中の SPF/SIDF の取り扱い (accept or reject) が listenerconfig コマンドにて設定でき HAT 制御の一部として利用可能

## 3. 修正された不具合

---

Fixed:Robustness Fixes for Lockups on C160 Appliances [Defect ID: 68955]

AsyncOS7.1.1はC160が持っている一連の記録の強化を含んでいます。

Fixed:Extra Spaces in Footer When Forwarding via Outlook [Defect ID: 67312]

Outlook を使いメールを転送したときに、テキストのフッターに挿入された余分なスペースの問題を修正しました。

Fixed:Demo Certificate Becomes Default TLS Certificate After Upgrading [Defect ID: 69456]

syncOS7.1へアップグレードする際にTLS デモ用の証明書が置き換わる問題がありました。影響範囲はLDAP、HTTPS および、すべてのリスナーにおいてTLS 用証明書がデフォルトになるという問題がありましたが、この問題は改修されました。また、カスタム証明書はアップグレードによって変化はありません。

Fixed: Invalid Regular Expressions Halt RSA Email DLP Scanning [Defect ID: 67002]

RSA で署名されたメッセージで書式に不備(かっこが{}であったり|が入っていたりした場合にDLP エンジンがスキャンできない点を改修

Fixed: Message Tracking Details Page Displays Masking Backslashes in Content Matching Classifiers Containing Single Quotation Marks [Defect ID: 52407]

メッセージトラッキング機能において' (単一引用符)の前にバックslashが解釈される点を改修

Fixed: Application Fault Occurs When Switching Cluster Levels in Encryption Profile [Defect ID: 55874]

クラスタレベルで暗号化プロファイルを編集中にクラスタレベルを変更した時にアプリケーションエラーが発生する問題を改修

Fixed: Corrupted Uuencoded Content Results in Warning and Skipped Filters [Defect ID: 37164]

破損した Uuencode がメッセージフィルタをスキップする件とその際にメールログに Warning として記録される点を改修

## 4. アップグレード時の注意点及びアップグレードパス

---

### Security Management Appliances Discard Reporting Data for DLP and Marketing Mail

- ・ AsyncOS6.7.3 または、それよりも古いバージョンで使用されているセキュリティは AsyncOS7.0 または、それよりも新しいバージョンでは DLP やマーケティングメールのレポートデータはサポートされません。  
DLP やマーケティングメール機能を中心に使用するなら、AsyncOS6.7.6 または、それよりも新しいバージョンにアップグレードして下さい。

### Re-enable SNMP

- ・ アプライアンスを AsyncOS7.1.1 にアップグレードした後、boot を行うと SNMP は起動しません。Snmpconfig コマンドから再度 SNMP を有効にして下さい。

### Email Authentication

- ・ DKIM 認証は version8 をサポートします。
- ・ SPF/SIDF の証明のために、spf-pass ルールをフィルター内では利用できません。そのために、下位互換性を維持するには、フィルター内の spf-pass ルールは XML コンフィギュレーション・ファイルからは許可すると共に、似ている定義は spf-status ルールに変換することができます。

### Configuration Files

- ・ AsyncOS7.1 は AsyncOS7.0.1 また、それよりも古いバージョンからのコンフィギュレーション・ファイルの下位互換性は行えません。

### Custom Notification Templates

- ・ AsyncOS5.0 以前ではカスタム通知テンプレートで通知されるメッセージにはヘッダを含んでいました。5.0 以前の OS からアップグレードする場合は必要に応じヘッダを含ませる事が可能ですので、再度設定して下さい。[Defect ID: 27710]

### Feature Keys

- ・ 新たなライセンスを投入後、ライセンスサーバーへのチェックが1分間のインターバルがあり、数分後に正しく表示されます [Defect ID: 29160]

<アップグレードパス>

このリリースへの適当なアップグレードパスは以下のとおりです。

Version6.5.1-005 から Version7.1.1-011

Version6.5.3-007 から Version7.1.1-011

Version6.5.3-014 から Version7.1.1-011

Version6.6.0-202 から Version7.1.1-011

Version7.0.1-010 から Version7.1.1-011

Version7.0.1-101 から Version7.1.1-011

Version7.0.1-102 から Version7.1.1-011

Version7.0.2-006 から Version7.1.1-011

Version7.1.0-104 から Version7.1.1-011

Version7.1.1-010 から Version7.1.1-011



## 5. パフォーマンス観点での注意事項

---

### RSA Email DLP

RSA を有効にしてメッセージ受信時にアンチスパムとアンチウイルスを実行すると、アンチウイルススキャンにおいて 10%未満の性能低下が見られます。

### DomainKeys

電子メールに署名の DomainKeys のサインを行うと、メッセージのスループットの低下を引き起こす可能性があります。これには小さい署名用のキーを (512 バイトまたは 768 バイト) 使用することで緩和することができます。

### SBNP

SenderBase ネットワークへ参加するには、IronPort の情報サービスのデータを集めるのに適応性があるスキャンエンジン (CASE) を使用します。そのため、環境により性能の低下が発生するかもしれません。

### Virus Outbreak Filters

ウイルスの発生フィルターは、メッセージ脅威のレベルを決めるのに、文脈の適応性があるスキャンエンジンを使用し、規則に適合する、また発生 of 規則の組合せに基づいてメッセージを記録します。そのため、ある環境下では、性能の低下が発生するかもしれません。

### IronPort Spam Quarantine

検疫機能が作動し、さらに負荷がかかるとスループットがピークになるため、10-20% のスループットの減少を引き起こすかもしれません。



## 7. 改定履歴

---

2010年5月31日 第1版作成